

実施年度	実施主体	対象獣種
R8～R9	智頭町鳥獣害対策協議会	シカ、イノシシ

現状・課題

これまで猟友会による有害鳥獣の駆除や侵入防止柵の設置などの対策を講じてきたものの、依然として被害は高止まりの状況にある。近年、若手捕獲者の新規参入も見られるものの、社会全体で人口減少・高齢化が加速する中においては、スマート技術を活用した「少人数でも効率的に鳥獣対策を行える体制」の早急な構築が求められる。

事業概要

効果的な捕獲体制の構築と、本実証結果により得られた成果を智頭町内全域へ展開することで、「少人数でも効率的に鳥獣対策を行える体制」の構築を図るため、

- ・集落単位で把握している被害データの地図上での可視化、
- ・捕獲地点データとカメラによる個体群調査結果を統合し、正確な出没箇所の特定制と「捕獲地点選定の高度化」の実現、
- ・上記の統合データに基づく、確実かつ効率的な捕獲活動の展開、
- ・捕獲通知機器や自動撮影カメラの導入による「見回り負担の軽減」と「捕獲の迅速な対応」を実施。

活用機器 ※交付金活用外の機器を含む

- ・捕獲通知機器
- ・自動撮影カメラ

モデル地区の普及範囲

県内（1年目、2年目ともに成果報告会を開催）

【イメージ】

